

やまぐち

市議会だより



希望の灯りとともる

市政の拠点



定例会特集	2
議案の審議結果	5
委員会ア・ラ・カルト	6
市長に聞きたい!	8
議会からのお知らせ	15

2025年
12/1～12/22

上程された議案等

予算

10件

条例

12件

事件議決

53件

議員提出

1件

委員会提出

1件



伊藤市長 2期目の施政方針

ずっと元気な山口 ～新たなまちづくりモードへ～

具体的な方向性を問う！

～3つの挑戦～

1 都市全体の「元気度を上げていく」

観光コンベンションシティ山口の推進

人口減少局面においても、交流人口や観光消費の拡大による地域経済の底上げを図り、「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりを進める。本市の個性や特徴をさらに磨き発信しつつ、第一次産業との連携も一層強化しながら、10月から本番を迎える「山口デスティネーションキャンペーン」の取組を進める。また、パークロード周辺の教育文化施設の連携、湯田温泉の振興、新山口駅周辺の利便性向上などの施策を検討していく。

2 スマートなまち

スマートシティの推進

人口減少・高齢化に対応し、デジタル技術を活用して「ずっと元気な山口」の実現を目指す。そのために、公共施設等総合管理計画を整理し、重複する機能を持つ公共施設の複合化や適正な規模への縮小、老朽化した施設の除却などの再構築を進める。さらに、行政サービスの仕組みを分かりやすく再構築し、地域交流センターの機能強化にも取り組む。

3 選ばれるまち

定住促進と県都づくりの推進

若者定住の受け皿づくりや、安心して住み続けられる日常生活圏の形成を進める。また、今後の方向性の一つとして、南部地域での「(仮称)南部10,000人プロジェクト」を構想しており、交通利便性を生かした定住促進を検討していく。さらに、山口県農業試験場跡地や山口県立大学南キャンパス跡地の利活用、第4期山口市中心市街地活性化基本計画の策定、農山村エリアへの移住・定住促進、幹線道路の整備促進による土地利用の検討など、今後の第三次山口市総合計画の中で具体化を図る。



「(仮称) 南部10,000人プロジェクト」とは？

交通利便性の高さを有する南部地域において、小郡、川東、川西の3つの各エリアの地域特性を生かした定住促進の取組により、人口減少下にあっても、南部地域全体として人口を10,000人増加させていくプロジェクト。

今定例会では、伊藤市長から2期目の施政方針として、これまでの合併モードのまちづくりから、新たなまちづくりモードへの移行を図り、「安心。つながり。明るい未来。」のある山口市を築いていくとの決意が述べられました。その取組内容について、複数の議員が質問しました。

令和8年度予算編成方針



予算編成方針
市公式ウェブサイト

「新たな挑戦 元気山口」予算

令和8年度予算編成方針が公表され、「活力と魅力にあふれた選ばれる県都づくり」「持続可能でスマートなまちづくり」「安全・安心の暮らしの基盤づくり」の3つを基本方針とする「新たな挑戦 元気山口」予算と位置付けられました。

予算編成の方向性について質問しました

問 「持続可能でスマートなまちづくり」について、限られた経営資源の中で真に必要なサービスの質を確保するとされているが、物価高騰の状況を踏まえると、これまでと同じ額の予算では、同じサービスの質を確保するのは難しいのではないか。

答 物価高騰等の外部要因による事業費への影響もある中、PDS(プラン・ドゥー・シー:計画・実行・評価)サイクルによる事業評価を踏まえた事業の重点化や見直しについては、より一層の見極めが必要になるものとする。事業の実施方法の工夫により精査が可能な経費や、施設の維持管理など、運用面での見直しが可能な経費については、これまで以上の精査を行い、限られた経営資源の中でも、真に必要なサービスの質を確保しながら令和8年度の予算編成を進めていきたい。



令和7年度 補正予算を審査！

消防車庫の建設

災害発生時の的確な出動体制や参集時における駐車場の確保などの課題の早期解決と、近年の建築資材調達や人材確保難を踏まえ、早期に契約手続を進めるため、徳佐分団2部及び大殿分団の消防車庫建設工事について、令和8年度に*債務負担行為を設定することを確認した。



指摘・要望

○早期着工の姿勢を評価するとともに、早期の事業効果の発揮を期待する。

*債務負担行為

事業が単年度で終了せず、後年度にも支出しなければならない場合に、あらかじめ後年度の支払いを約束する予算を定めること。

物価高騰に伴う学校給食費への対応

前定例会でも増額補正の議決をしたところではあるが、物価高騰により学校給食の食材費が大きく上昇しており、引き続き保護者負担を増やすことなく安定して給食を提供するため、追加補正することを確認した。



指摘・要望

○全ての子どもたちに栄養価の高い給食が提供されるよう、柔軟な対応を求める。

亀山地区の急傾斜地崩壊対策工事

山口市中央消防署の解体工事に併せ、裏山からの土砂崩壊による被害を防ぐための対策工事を実施するに当たり、有利な地方債を活用するため、令和8年度に*債務負担行為を設定することを確認した。

指摘・要望

○財政的な負担を減らす取組であると理解する。

山口市経済対策第18弾 補正予算可決!

『強い経済』を実現する総合経済対策 重点支援地方交付金

【予算規模 総額 約25.6 億円】

問 全国的に「おこめ券」が話題となっている中、なぜ本市ではプレミアム付商品券を選択したのか。

答 本市にはお米の生産者が多いという実情や、各世帯によって主食の種類や食料品の支出構成が異なること等を総合的に踏まえ、お米に限定した支援ではなく、食料品全般の物価高騰に対応できる支援として、プレミアム付商品券の発行支援を選択した。

問 低所得者世帯に対する支援についてどのように考えているのか。

答 低所得者世帯に対し1世帯あたり1万円の給付を実施する予定としている。

問 なぜ子ども食堂に対する支援メニューを選択しなかったのか。

答 子育て世代への支援は、学校給食の安定的な提供が急務であると判断し、全体的かつ公平に支援を届けることを重視し、学校給食食材費の高騰分への対応を選択した。子ども食堂の支援は、引き続き状況把握等に努めていきたい。



国の『強い経済』の実現に向けた総合経済対策に呼応し、物価高騰の影響を受ける生活者や事業者を支援するため、重点支援地方交付金を活用した市独自の支援メニューが提案されました。これらについて活発な議論を交わしました。



山口市経済対策
第18弾
市公式ウェブサイト

議員定数削減! 賛否割れる! 次期市議会議員選挙から定数32人へ

市議会議員の定数を現在の34人から32人に変更する「山口市議会議員定数条例の一部を改正する条例」が、3会派の議員3名の連名で議員提出議案として提案されました。活発な議論の末、賛成21名、反対6名、退席3名の賛成多数で可決されました。次期市議会議員選挙から議員定数は32人です。

議案提出までの経緯

令和6年9月: 議長の諮問機関として議会活性化充実協議会を設置

議員定数の在り方について会議を6回開催し、人口規模や面積、財政状況が類似する他市の資料などを基に協議を行った。

協議の結果、人口規模等を踏まえ議員定数の削減が望ましいとする意見が半数以上を占めた一方で、市域の広さを考慮し現状維持とする意見や、一部、定数の増加を求める意見もあった。議員定数に対する考え方は議員ごとに異なり、全会一致による結論には至らず、多数決を用いない協議会の方針を踏まえ、現時点で結論を出すことは困難であるとの判断に至った。

令和7年6月: 議会活性化充実協議会が議長に答申

議員定数について削減すべきもしくは削減が望ましいとする意見が半数以上を占めたが、統一的な見解を示すことができなかったことを答申した。

令和7年12月: 令和7年第4回山口市議会定例会に議員提出議案として提出

問 議会活性化充実協議会の議論は何だったのか。次期選挙の立候補予定者への周知期間が短いのではないかと提案が遅いのではないかと。

答 議会活性化充実協議会は多数決で結論を出す場ではないため最終的な結論には至らなかったが、会議の中では定数削減を求める意見が多かった。市町合併から20年という節目を迎える中で、人口減少や財政状況、市民生活の現状を踏まえ議会として提案する責任があると判断した。周知期間については明確な基準はなく、手続上の問題はないと考えている。

問 議員定数を「32人」とした具体的な根拠は何か。

答 定数を34人とした約5年前から人口が約6,000人減少していることや、人口規模に応じた定数の考え方を踏まえ、さまざまな意見から総合的に判断した。

議案等の審議結果

全員賛成で可決した議案

予 算

- 令和7年度山口市一般会計補正予算（第7号）
- 令和7年度山口市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- 令和7年度山口市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- 令和7年度山口市介護保険特別会計補正予算（第2号）
- 令和7年度山口市水道事業会計補正予算（第2号）
- 令和7年度山口市一般会計補正予算（第8号）
- 令和7年度山口市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 令和7年度山口市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- 令和7年度山口市介護保険特別会計補正予算（第3号）
- 令和7年度山口市一般会計補正予算（第9号）

条 例

- 山口市使用料、手数料徴収条例の一部を改正する条例
- 山口市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例
- 山口市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
- 山口市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例
- 山口市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び山口市環境基本条例の一部を改正する条例
- 阿東ふるさと交流促進センター設置及び管理条例を廃止する条例
- 山口市建築物における駐車施設の附置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 山口市火災予防条例の一部を改正する条例
- 山口市特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 山口市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

事 件 議 決

- 字の区域の変更について
- 市道路線の認定について
- 山口南総合センターの指定管理者の指定について
- 山口ふれあい館の指定管理者の指定について
- やまぐちリフレッシュパークの指定管理者の指定について
- やまびこ学級の指定管理者の指定について
- すずみ学級の指定管理者の指定について
- すずみ第2学級の指定管理者の指定について
- うえき学級の指定管理者の指定について
- みなみ学級の指定管理者の指定について
- しょうだ学級の指定管理者の指定について
- ひめやま学級の指定管理者の指定について
- さわやか学級の指定管理者の指定について
- もみじ学級の指定管理者の指定について
- もみじ第2学級の指定管理者の指定について
- もみじ第3学級の指定管理者の指定について
- なかよし学級の指定管理者の指定について
- わくわく学級の指定管理者の指定について
- くすのき学級の指定管理者の指定について
- たんぼぼ学級の指定管理者の指定について
- はばたき学級の指定管理者の指定について
- はちのこ学級及びはちのこ第2学級の指定管理者の指定について

- 山口市小鱈高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について
- 山口市大内高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について
- 山口市宮野高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について
- 山口市吉敷高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について
- 山口市平川高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について
- 山口市陶高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について
- 山口市鑄銭司高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について
- 山口市名田島高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について
- 山口市秋穂二島高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について
- 山口市嘉川高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について
- 山口市佐山高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について
- 山口市小郡高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について
- 山口市小郡高齢者生きがいセンターさるびあ館の指定管理者の指定について
- 山口市串地区老人作業所の指定管理者の指定について
- 山口市老人福祉館及び山口市山口児童館の指定管理者の指定について
- 山口市老人憩の家嘉泉荘の指定管理者の指定について
- 山口市老人憩の家潮寿荘の指定管理者の指定について
- 山口市宮野地域交流ステーションの指定管理者の指定について
- 山口市働く婦人の家の指定管理者の指定について
- 道の駅あいおの指定管理者の指定について
- 道の駅「きらら あじす」の指定管理者の指定について
- 山口市阿東総合交流ターミナルの指定管理者の指定について
- 山口市新本庁舎市民交流棟新築工事の請負契約の締結について
- 山口市本庁舎解体工事（2工区）の請負契約の一部を変更することについて
- 平川地域交流センター新築工事の請負契約の一部を変更することについて
- 道の駅仁保の郷大規模改修工事の請負契約の一部を変更することについて
- 移動式排水ポンプの取得について
- 損害賠償の額を定めることについて
- 副市長の選任について（敬称略）
原田 憲一（新任）
- 監査委員の選任について（敬称略）
石高 雅美（再任）
- 監査委員の選任について（敬称略）
山田 豊成（新任）

委員会提出

- 地方自治法第180条第1項の規定による市長専決処分事項の一部を改正する告示

各議員の表決態度を市議会ウェブサイトで確認することができます。



賛否が分かれた議案等と審議結果 (○は賛成、×は反対、―は退席)

件 名		審議結果	未来志行山口	やまぐち有隣会	県都創生山口	公明党	高志会	市民クラブ	日本共産党	地域党やまぐちの風
条 例	山口市教育委員会の委員の定数を定める条例の一部を改正する等の条例	可決	○	○	○	○	○	○	×	○
	山口市議会の議員の議員報酬及び非常勤の職員の報酬並びに費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	×	○
議員提出	山口市議会議員定数条例の一部を改正する条例	可決	○	○	×	○	―	○	×	○

山口市議会では、「総務」教育民生「生活環境」「農林建設」「予算決算」の常任委員会を設置し、各委員会が所管する部局の議案や業務等の審査・チェックをしています。

各委員会の所属議員、所管する部局、日程など、詳しくは市議会ウェブサイトに掲載しています。



新たに移動式排水ポンプ取得

近年頻発する大雨災害による甚大な被害を踏まえ、内水氾濫による浸水被害の軽減を目的として移動式排水ポンプを取得する。ポンプは1分間で約45トンの排水能力を有し、水位センサーにより設定水位に達すると自動で起動し、水位が低下すると自動停止する機能を備えている。設置場所は当面、小郡地域の八方原地区を想定しているが、移動可能な排水ポンプであることから、来年度策定予定の雨水管理総合計画との整合を図りつつ、今後の設置場所を検討する。

(担当部局：総務部)

総務委員会



林野火災警報・注意報で防災強化

令和7年2月26日に発生した大船渡市の林野火災を受け、林野火災予防の実効性を高めるため、条例改正により林野火災警報及び林野火災注意報を新たに設定した。警報及び注意報については気象状況から林野火災の予防上注意が必要と認める場合に発令することができる。警報及び注意報発令時は、屋外での火の使用が制限される(※注意報については努力義務)。周知については、注意報発令時は市公式ウェブサイトでの活用や消防車等による巡回広報を行い、警報発令時には注意報発令時の対応に加え、防災メーカ等を活用し広報に努める。

(担当部局：消防本部)

総務委員会

委員の意見

新たに設定された林野火災警報・注意報の制度について、市民への周知を徹底するとともに、注意報発令時には迅速かつ確実に情報が伝わるよう、広報手段の工夫に努めていただきたい。



満足度の高い窓口サービスの提供

山口市役所本庁舎の供用開始に伴い開設した*おくやみ窓口の利用状況については、概ね当初の想定どおり推移している。なお、手続完了までにかかる滞在時間は、ワンストップの効果測るための職員による体験調査の結果、旧庁舎では1時間56分であったのに対し、おくやみ窓口でのワンストップ化により54分となり、御遺族の負担軽減につながったものと考えられる。

引き続き、より満足度の高い窓口サービスを提供できるように努める。

(担当部局：地域生活部)

*おくやみ窓口：死亡に伴う各種手続のうち、市役所へ届出・申請いただく手続について、御遺族の方が各窓口へ移動することなく必要な手続を済ませていただけるよう、各種手続の受付や案内を行う窓口。(1日6件の原則予約制)



山口市公式ウェブサイト(おくやみ窓口案内ページ)

委員の意見

実際に利用された方から好評の声が届いており、非常に良い取組と評価する。



アートでつながるまちの活性化事業

令和7年10月26日に、山口市中心商店街で、「やまぐち秋の盆踊り2025」を開催した。

この取組は、YCAMとの連携の下、盆踊りの音頭制作を通じて、踊りや演奏の練習で交流を促進し、まちの賑わいや新たな魅力を創出する視点を醸成するプログラムとして実施し、当日は飛び入りの踊り手や沿道での観覧者を含め、1,000人を超える来場者で賑わい、大いに盛り上がった。また、その様子や練習風景などをSNSで配信したところ、再生回数が1万回を超えるなどの反響があった。

引き続き、中心市街地への愛着を深めるとともに、賑わいの創出やエリア価値の向上に努める。

(担当部局：商工振興部)

委員の意見

新しい文化的な価値を創造し、その波及効果でまちを活性化しようという取組自体はよいと考える。一方で、この取組に1,000万円もの費用がかかっているのはいかがなものか。今後、公金支出の在り方について、整理が必要と考える。

生活環境委員会

生活環境委員会



こども誰でも通園制度 開始に向けた実施計画

こども誰でも通園制度については、令和8年4月の開始に向け、1月上旬から事業者の認可申請を受け付け、審査を行い、子ども・子育て会議の意見聴取を経て、2月中旬以降に認可する予定である。利用者については、2月上旬から認定申請を受け付け、審査を経て順次認定する予定である。事業者・利用者ともに、基本的には全国统一の総合支援システムを用いて情報登録、予約、給付申請などを行う。

今後、事業者向けの説明会や意見交換を通じて運用方法を周知し、公定価格や利用料、キャンセル規定等が国から示され次第、運営や利用者対応に関する情報を広く提供する。

(担当部局：こども未来部)



こども家庭庁
ウェブサイト
(こども誰でも
通園制度)

教育民生
委員会



民生委員・児童委員の改選と 増員要望の対応状況

令和7年11月30日で民生委員・児童委員の任期が満了することに伴い、12月1日に全国一斉の改選が実施され、本市においては、山口市民生委員推薦会で候補者の審査を行い、県知事への推薦を経て422人に委嘱状を交付した。今回の改選から定数は3名増の456名となり、仁保地区で1名、平川地区で2名の増員となった。増員については、市において各地区民生委員児童委員協議会に意見聴取を行った上で、高齢者増加などの状況を踏まえて県に増員要望を提出し、県において、地域事情や地理的条件を勘案して決定された。

今後、民生委員・児童委員が、任期当初から円滑に活動できるように支援していきたい。

(担当部局：健康福祉部)

委員の意見

民生委員・児童委員の欠員を速やかに補充し、地域の支援体制を整えていただきたい。

教育民生
委員会



水道料金等の eLTAXによる収納

水道料金・下水道使用料の収納について、お客様サービスの向上のため、eLTAX（エルタックス…地方税ポータルシステム）による収納を、令和9年度から開始する予定である。

それに伴い、スマートフォンアプリによる*キャッシュレス決済での支払いについては、国が推進しているeLTAXを活用したものに移行することにより、納付書に印字された地方税統一の二次元コードをスマートフォン等で読み取ることによる支払いが可能となる予定である。

(担当部局：上下水道局)



地方税共同機構
ウェブサイト
(eLTAX)

*キャッシュレス決済…PayPayや
auPAY等

農林建設
委員会



まちなかウォークアブル実現に向けた 社会実験の実施

令和7年10月4日から10月26日まで、一の坂川交通交流広場で、「KAMEYAMA PARK FRONT（カメヤマパークフロント）」と称する社会実験を実施した。弁当や飲料の販売、アウトドアグッズ等のレンタル、周辺地域の店舗の商品販売のほか、アルコール類の販売、地域の方や大学生によるイベントも実施し、延べ2000人を超える方に来場いただいた。

今回の社会実験を踏まえ、中心商店街の活性化とさらなる価値の向上につながるよう、官民連携による持続可能な運営体制の構築や魅力ある事業の検討等を進めたい。

(担当部局：都市整備部)

委員の意見

行政と民間の役割を整理し、効果的な連携体制を進めたい。

農林建設
委員会



市長に聞きたい! どうなる? これからの山口市

★議員が何を質問したか読んでみましょう! ★一般質問の制限時間は質問と答弁を合わせて50分です。
★質問と答弁の映像は各議員の二次元コードから見るすることができます。
※必要な場合には二次元コードリーダーをインストールしてご覧ください。※情報の受信にかかる通信料は利用者負担となります。

行政 市長2期目の市政運営、中長期的な展望を伺う!

山口を築いていきたいと思います。い未来のあるながり・明るい未来・つちづくりを進め、安心・つな



を据えたい。山口市を築いていきたいと思います。い未来のあるながり・明るい未来・つちづくりを進め、安心・つな

問 2期目の市政運営や基本的な施策方針等について、副市長の2人制導入など推進体制の強化や中長期的な方向性も含め、所見を伺う。

答 中長期的には、施設や行政サービス等の再構築、まちの魅力を高め、さらなる定住促進や交流創出につながる取組を重点的に進めたい。御案内の特別職の設置も検討しつつ、マネジメント機能を強化し、事業推進スピードを加速させたい。引き続き市民を大切に、地域を大切にという思いを中心に、議会での議論も十分に重ねながら政策を進めていきたい。市民の安心の暮らしを守り、地域のコミュニティや人と人とのつながりを大切にしながら、未来



未来志行山口
原 真也



財政 持続可能な財源確保が必要

健全な財政運営を維持していく。



自主財源の確保には、地域資源や都市の魅力をさらに引き出し、選ばれるまちを目指す必要がある。人件費や公共施設等の老朽化対策費用の増大には、業務の適正化や組織のスリム化を図るとともに、施設利用の重点化とスラップに向けた取組で対応する。さらなる行財政改革の推進やデジタル化による業務の効率化に努め、歳入歳出両面から財源確保に取り組み、健全な財政運営を維持していく。

問 令和8年度の予算編成方針によると、一般会計の財源不足は27億円に上る見込みとなっている。現時点では財政の健全性は保たれているが、今後も人口減少等による歳入の減少、福祉関連費や維持管理費等の増加が想定される中で、財政運営にどのように取り組んでいくのか伺う。

答 自主財源の確保には、地域資源や都市の魅力をさらに引き出し、選ばれるまちを目指す必要がある。人件費や公共施設等の老朽化対策費用の増大には、業務の適正化や組織のスリム化を図るとともに、施設利用の重点化とスラップに向けた取組で対応する。さらなる行財政改革の推進やデジタル化による業務の効率化に努め、歳入歳出両面から財源確保に取り組み、健全な財政運営を維持していく。



やまぐち有隣会
富田 正朗



産業 新たな産業団地整備に向けた進捗状況は



周防鑄銭司(すおうのじゅせん)1200 フェスでの人文字

問 新たな産業用地の整備を含めた企業誘致の進捗状況と今後の方向性を伺う。

答 産業用地整備等の可能性を検討するために適地調査を行い、3か所の候補地を選定した。官民連携や地域未投資促進法を用いた整備手法等、本市の状況に合わせた手法の検討を進めている。

文化 周防鑄銭司設置 1200年記念事業

問 国史跡である周防鑄銭司の今後の活用を聞く。

答 史跡周防鑄銭司跡保存活用計画に基づき、引き続き発掘調査を重点的に進めつつ、現地説明会や講座開催、鑄造体験等の取組を地元と連携しながら実施していきたい。



県都創生山口
野村 幹男



生活 物価高が家計を直撃!対策はいかに!?

問 予算編成方針では、物価高騰の影響への必要に応じた対応について触れられている。重点支援地方交付金の議論がなされている中で、中間所得層や低所得世帯等への直接的な支援が必要と思うが、本市独自の物価高対策についてどのような取組を検討しているのか伺う。

答 市独自の生活者支援としては、食料品全般の物価高騰に対する支援や、住民税非課税世帯やそれに準ずる世帯への支援、子育て世帯への支援としての学校給食費支援などについて、現在検討を進めている。また、事業者支援については、エネルギー価格高騰に直面している中小企業や農林水産業の経営継続を後押しする取組のほか、防犯灯のLED更新に対する補助等についても検討を進めている。




公明党
其原 義信

そのはら よしのぶ



観光 JR山口、湯田温泉両駅の改札外トイレの改良

問 本市の玄関口となるJR山口駅、JR湯田温泉駅の改札外トイレを、暖房便座に改良してはいかがか伺う。

答 両駅の改札外トイレは、洋式化等により一定の利便性は向上しているが、冬季を中心に便座が冷たいとの御意見をいただいております。こうした点は、観光地としての印象に影響を及ぼす要素にもなるものと認識している。おもてなし向上の観点から、本市を訪れていただいた皆様の御意見をしっかりと聞きながら、より快適な環境を整え、観光地としての満足度を高めていくことが肝要と考えています。こうしたことから、観光拠点として利用頻度の高い両駅の改札外トイレについては、可能な限り早期に暖房便座を整備していきたい。




高志会
伊藤 斉

いとう けんじ



環境 クマを正しく理解し、被害に遭わないために

問 クマに関する正確な情報を積極的に発信することが市民の安心安全につながるものと考えますが、市の取組を伺う。

答 山口県に生息するツキノワグマは、絶滅のおそれがあると考えられ、狩猟の原則禁止など、保護と管理が進められている。クマ被害に遭わないためには、早朝や夕方外出を控え、外出の際は音の出るものを携帯し、また、餌となるものを屋外に放置しないなどの対策が有効とされている。そうした情報を発信することで、クマによる被害に遭わない環境づくりを図っていく。市公式ウェブサイトのクマの目撃情報等の発信に加え、県等関係機関と連携して、人間とクマのすみ分けに向けた取組及びクマ被害の防止に向けた取組を進めていきたい。




市民クラブ
山見 敏雄

やまみ としお



福祉 字幕メガネで聴覚障がい者も気軽に映画鑑賞を

問 補聴器は映画館では使えない。上映映画の多くはバリアフリー対応で、視覚障がい者には音声ガイド、聴覚障がい者には字幕ガイドが提供される。専用アプリを入れたスマートフォンと字幕メガネがあれば、聴覚障がい者も気軽に映画館で映画を楽しめるが、県内では1館のみの対応である。地域交流センターやYCAMなどに貸出し用字幕メガネを配置できないか。

答 事業者には障がいのある方への合理的配慮が義務化されており、県内他市町とも連携し、事業者の主体的な取組を働きかけていきたい。YCAMシネマについては、備付けに向け、検討したい。



字幕メガネを着用して映画鑑賞しているイメージ図



日本共産党
尾上 頼子

おのうえ よりこ



協働 「ずっと元気な山口」の実現のために

- その他の質問
- 新規就農者への支援
- 単市補助事業
- 交通政策

問 交通問題など共通する課題を抱える、隣接する複数の地域が連携して課題解決に取り組むことは、より効果的、効率的な結果につながるかと考える。地域間連携を促す取組の必要性について伺う。

答 共通の地域課題をテーマに、意見交換や議論を行う場を市として積極的に設け、地域交流センターや協働推進課を中心に各関係部局もしっかりと関わりながら、地域課題の解決に向けた連携を促す環境づくりを進めたい。広域的な取組は、地域間が相互に補完し合い、関係する地域全体の持続可能な発展が期待されるところで、今後もあり、今後も地域間連携の促進に取り組む。




県都創生山口
野島 義正

のしま よしまさ



行政 山口市愛の向上に資する新たなまちづくりを!

(市公式ウェブサイト)
令和8年度
予算編成方針



- その他の質問
- 次世代の教員を育成するための取組

問 山口市の新たなまちづくりに向け、多くの市民が参加可能な移動市長室や分ごと会議の導入など、市民との対話の方法や市民のまちづくりへの参画方法について、新たな取組も必要ではないか。

答 従来の取組を継続しつつも、さらなる手法を研究することは極めて重要である。自分ごと会議のように、従来の会議やアンケートでは声が届きにくかった層からの意見を聞き取る方法も有効な手法の一つである。第三次山口市総合計画の策定に向け、高校生や大学生などの若者世代、子育て世代、高齢者世代など、それぞれの世代の特性に応じた効果的な対話手法等を検討するなどの取組を進めたい。



未来志行山口
檜山 俊哉

すげやま としや



産業 ほこみちで歩行者の利便増進を

ら、他市事例を参考に、道路空間の有効活用に努めたい。



問 お昼御飯対策やほろ酔い横丁の設置など、観光客のおもてなしやにぎわいづくりとして、歩行者利便増進道路(ほこみち)の活用は早速取り組むべきではないか。

答 歩行者利便増進道路とは、快適な生活環境の確保と地域の活力の創造に資する道路を指定し、地域を豊かにする歩行者中心の道路空間の構築を目指して創設された道路占用の特例制度である。指定された道路は、道路占用許可が柔軟に認められるようになり、テーブルやベンチ、キッチンカー等の設置が容易となり、公募選定の場合も最長20年の占用期間の設定も可能となる。道路空間の柔軟な活用は民間の経済活動促進の有効な手段の一つであることから、他市事例を参考に、道路空間の有効活用に努めたい。



高志会
有田 敦

ありた あつし



文化 山口市民会館は市民に愛されてきた文化の殿堂!



山口市民会館の現状

問 山口市民会館は、文化の殿堂だが老朽化が著しい。今後の在り方と対応を伺う。

答 今後施設に求められる機能を整理しつつ、老朽化対応の検討を進めている。こうしただ中、本年6月に山口商工会議所からやまぐち魅力向上プランの提案を受け、パークロード一帯に集積する県の文化・教育施設が建設から50年前後経過している状況を踏まえ、市施設との連携強化が図られるよう、県に意見交換の場の設置を要望した。こうしたことから、今後の老朽化対応の検討を進める中で、当面の間は、引き続き現在の市民会館を利用できるように、適切な営繕対応を行っていく。



地域政党 やまぐちの風
竹中 一郎

たけなか いちろう



上下水 持続可能なまちづくり



問 市民生活に必要な不可欠な簡易水道・集落排水事業をどのように経営し、市民生活を守っていくのか、持続可能な計画について伺う。

答 両事業の主な事業区域である農山村地域では、人口減少の影響がより深刻で、簡易水道については、運営コスト縮減に向け、7つある簡易水道の統合を進めており、令和30年頃を目安に、現有47の給水施設を27施設へ集約する再編構想を持っている。集落排水においても、コスト縮減に向けた整備方法や新たな処理方法、実施時期などの検討を始めている。市民生活や社会経済活動を支える重要なインフラとして、今後ともコスト縮減と収益確保に努めながら、今と将来の利用者の負担の適正化を図りつつ、安定したサービス提供に取り組む。



県都創生山口
瀧川 勉
たきがわ つとむ



行政 財政健全化と歳入確保



問 少子高齢化の進行は、扶助費などの歳出増加と生産年齢人口の減少による税収の減少という、二重の圧力を財政にかけることになる。歳出削減には限界があることから、市独自の経済活動を創出し、外部資金を呼び込む新しい手法・施策の検討を急ぐべきであり、稼ぐ行政への転換を図るべきと考えるが、市の考えを伺う。

答 ネーミングライツやふるさと納税、企業版ふるさと納税などの取組を積極的にやっている。こうした取組に加え、研究開発型ベンチャー企業の誘致を通じた納税主体の育成など、新しい手法についても研究を重ねている。山口市財政運営計画に掲げる方針に従い、第三次山口市総合計画を見据えながら、引き続き財源確保に取り組んでいく。



未来志行山口
馬越 帝介
まごし たいすけ



教育 義務教育終了後も見据え、不登校支援の強化を!

●その他の質問
○住宅密集地における防火対策・消火対応及び避難所対応

問 義務教育終了後も見据えた多機能を取り込んだ重層的・多機能な支援強化策を講じる時期に来ていると考えるが、本市の所見を伺う。

答 家から出ることが難しい児童生徒に対し、今年度から新たに地域交流センター等の学校以外の場所で教育相談や学習支援を行うアウトリーチ型の連携支援を始めた。また、悩み苦しんでいる児童生徒や保護者のニーズに応じて相談できる仕組みづくりは重要と認識しており、他機関との連携による不登校支援機能を取りまとめたリーフレットの作成・周知等を行うことで、引き続き誰一人取り残さない多様な学びの場や心の居場所づくりに向け鋭意努めていく。




未来志行山口
坂井 芳浩
さかい よしひろ



就労 中小企業の職場環境を守る取組!

●その他の質問
○ひきこもり支援について
○生活環境の保全について

問 本市の就労環境対策、特に空調機器や空調服といった備品購入に係る経済的な支援、中でも厳しい経営環境にある中小企業・個人事業主に対する支援について伺う。

答 本市では山口市省エネ機器等導入応援補助金を創設しており、省エネのみならず、熱中症対策などの職場環境の改善にも寄与し、作業効率の維持や負担軽減を通じて人材の確保・定着につながることを考えている。今後も国の重点支援地方交付金の動向や、他自治体の取組を注視し、単に設備等にとどまることなく、人材の確保や定着、企業が成長を続けられる環境づくりに資する施策となるよう実効性の高い手法を研究していきたい。




公明党
山本 敏昭
やまもと としあき



防災 避難所となる小・中学校体育館等の空調設備設置



公明党
栗林 正
くりばやし ただし



問 市立小・中学校体育館等の空調設備をどのようなスケジュールで設置するのか市の所見を伺う。

答 本市では対象校が多いことから年次的に進めることとし、国の示す目標年度を念頭に置きながら、できるだけ早期の整備完了を目指す。整備に当たり児童・生徒数や学校以外の指定避難所のエアコン設置状況、過去の災害発生状況等様々な要素を踏まえるとともに、地域バランスを考慮して進める。整備する機器の方式は、

- 学校ごとに既存のライフラインの整備状況が異なるため、設計段階で総合的に検討し適切な選定を行いたい。
- その他の質問
- 元気な県都づくり
- 住宅セーフティネット制度
- 学校環境の整備



環境 みんなが心地よく暮らせるまちの実現に向けて



未来志行山口
大來 尚順
おおぞ なおゆき



問 太陽光発電設備の適正な設置及び維持管理のための条例制定について伺う。

答 山口市の生活環境の保全に関する条例を改正する形で案を示した。本条例案では、原則禁止を前提とする許可制ではなく、財産権との整合や、本市における再生可能エネルギーの利用促進の方向性を踏まえ、届出制としている。市との事前協議や説明会の実施、標識の設置、維持管理、必要な保険への加入、処分に係る費用の確保等の遵守を義務づけており、適正な対応がなされない場合には、市が指導や助言、勧告、命令を経て公表できるものとしている。パブリックコメントを通じた市民の意見、市議会での議論を踏まえ、令和8年3月議会に最終案を諮る予定としている。



財政 YCAMは年間5億円の金額に見合うのか



やまぐち有隣会
野村 雄太郎
のむら ゆうたろう



問 他自治体では、事業の参加者数だけでなく多角的データを基に明確な数値を示すことで、文化振興に対する公金支出の正当性を担保している。本市でも透明性の高い評価方法を導入すべきと考えるがいかがか。

答 文化芸術活動がもたらす価値は多岐にわたり、数値で表すことが困難であるため、参加者等を指標としている。多角的・総合的に分析する手法等適切な評価方法を研究したい。

問 YCAMのような特定の分野に特化した高コスト施設は受益者も限定される。財政効率・公平性の観点から疑問を感じるが必要性はあるのか。

答 市民がいつ訪れても刺激的で楽しい施設となるよう、親しみやすい事業を実施し、市民が誇れる施設となるよう努力していきたい。



交通 地域の快適な移動手段!コミュニティタクシー!



やまぐち有隣会
植野 伸一
うえの しんいち



問 コミュニティタクシーの利用促進と意識醸成についての取組と、新たな運行方式の導入について伺う。

答 交通不便地域における住民生活の利便性向上を図るため、地域が主体となり、利用促進や意識醸成に取り組みられている。本市としては、地域や交通事業者との協働の下、取組を積極的に支援していく。また、新たな運行方式の導入に関しては、地域ごとに課題や特性が異なるため、自家用有償旅客運送など、全国的な取組事例も参考とし、持続可能な形を地域の皆様とともに検討していきたい。

- その他の質問
- 事業承継について



吉敷地域を運行する「コミタク良城」

都市 効率の悪い農地を優良な宅地とし定住対策へ



やまぐち有隣会
山本 浩二
やまもと こうじ



問 人口定住には、住環境に恵まれた低廉な宅地の確保が何より重要である。ずっと元氣な山口の実現に向けて、本市の土地利用と定住促進の将来像をどのように描かれているのか伺う。

答 小郡や南部地域における交通利便性を生かし、エリア全体として人口を1万人増加させていく（仮称）「南部10000人プロジェクト」の検討を進めていく。阿知須地域の井関地区を含め、将来的に土地利用や定住促進が図られる可能性を有するエリアは複数存在する。一方で、農地転用には様々な課題があり、あらゆる施策分野から総合的に検討、対応していく。

●その他の質問

○山口市新本庁舎二期工事
○道の駅「きらら あじす」のさらなる活用



教育 就学援助制度は制服代など増額し、対象者拡大を



日本共産党
大田 たける
おおた たける



問 就学援助制度では、学用品費が長年据え置かれており、制服代も家計に大きな負担となっている。物価高騰が長期化する中、実態に即した支給額の増額をすべきではないか。また、入学準備金の支給時期が遅いため立替え負担が生じており、支給時期をさらなる前倒しや制度周知の強化をすべきではないか。

答 支給額の増額は、提言や国の動向を参考に、制服代等を含め新年度予算編成の中で検討したい。支給時期は、他市を参考に、効果的な支援につながるよう研究したい。

問 物価高を反映して認定基準を引き上げること、対象者を拡大するよう見直しはいかがか。

答 新年度予算編成の中で、認定基準等の内容について総合的に検討したい。



教育 誰もが地域に愛着を持ち活躍できる社会を!



未来志行山口
米本 太郎
よねもと たろう



問 子どもも大人も地域に愛着を持ち、誰もが生き生きと活躍できる社会の実現について、教育委員会の考えを伺う。

答 人と人とのつながり、地域コミュニティの希薄化は、現代社会が直面する重要な課題である。地域愛の醸成や次代を担う人づくりに向けた大きな取組として、コミュニティ・スクール、地域学校協働活動の活性化と、社会教育を中心とした人づくり、つながりづくり、地域づくりの好循環の創出を進める。そのためには、地域住民の交流の拠点である地域交流センターの役割はより一層重要となる。関係団体等が一体となり、子どもも大人も山口市が好き、住み続けたいという人であふれる魅力あるまち、選ばれるまちを目指して取り組んでいく。

(市公式ウェブサイト)
社会教育委員会について



財政 解体ではなく、市営住宅や廃校を有効活用!



未来志行山口
安河内 淳朗
やすこうち じゅんろう



問 行政目的を果たした公共施設の解体には、多額の費用を要すると認識している。限られた財源の有効活用を図るため、再利用が可能な施設については、解体をせず有効活用するという選択を優先すべきだと考える。市営住宅や廃校を民間企業が利活用する方法も検討すべきではないか。

答 建物の老朽化等の状況や地元の皆様の利用意向を踏まえ、解体を行わずに建物と土地を一体で売却することや、建物の貸付を行うことも、財産の有効な利活用方法の一つであると考えている。今後も物件ごとの状況に応じて、利活用方法を検討していきたい。



●その他の質問

○SNSを活用した広報
○課税自主権による財源確保
○地域存続のための職員の兼業推進

子育て 子育て世代に出産祝い金を!

問 結婚や出産といったライフイベントも若者の定住意識を左右する大きな要素である。子育て世代に本市が選ばれるためには、市独自の経済的支援制度の創設が必要と考える。奈義町の出産祝い金10万円等の取組や、萩市の子育て世帯応援誕生祝金などの事例を踏まえ、本市独自の出産祝い金等の支援策を創設する考えはあるか。

答 子育て世代のニーズ把握を進める中で、経済的負担の軽減を求める声が多いことを確認している。国の動向を踏まえ、児童手当の支給期間の延長や妊婦支援給付金の支給に加え、本市独自の取組として、こども医療費無償化の拡大や第2子以降の保育料無償化などに取り組んでいる。好事例や子育て世代のニーズ把握に努め、本市の包括的な子育て支援策について引き続き検討していく。




やまぐち有隣会
宮川 英之
みやかわ ひでゆき



都市 持続可能で魅力ある中心市街地を目指す!

問 持続可能で魅力ある中心市街地の未来をどのように見据えているのか、第4期山口市中心市街地活性化基本計画策定の方向性を伺う。

答 これまでのハード・ソフト両面からのまちづくりの取組の結果、営業店舗数はおおむね維持され、居住人口も増加したが、賑わいの低下や老朽化が進む市街地の更新への対応が課題である。第4期計画策定で意識する視点として、集客力のある商業施設等の配置などの新たな都市機能の誘導や、更なる魅力向上や回遊の促進等を考えている。中心市街地とその周辺は都市機能が集積し、経済社会の発展に重要な役割を果たしていることを認識しており、地元事業者、市民、とりわけ若い世代の方々とも認識を共有しながら官民一体となったまちづくりを進めていく。



未来志行山口
鳥養 祐矢
とりかい ゆうや



都市 次世代につなぐ小郡都市核の発展

問 小郡都市核づくり推進のため、専門部署の創設を含めたオール山口で臨む本気度を伺う。また、駅周辺の駐車場整備の方向性について伺う。

答 新山口駅北地区第一種市街地再開発事業に続くような民間事業が立ち上がるタイミングなど、適切な時期において専門的な組織体制を検討したい。駅周辺の駐車場整備については、エリアの特性から、民間事業者による立体駐車場整備が望ましいと考えており、支援策の検討が必要と考える。また、土地の高度利用や産業機能の集積を図る視点も大変重要であり、建築物の共同建て替えを促す中で立体駐車場の一体整備などが有効と考える。



JR新山口駅上空から見た小郡都市核



やまぐち有隣会
中野 光昭
なかの てるあき



行政 政府が打ち出した物価高対策について

問 強い経済を実現する総合経済対策について、政府が示す内容と本市における実施時期を伺う。

答 政府による主な物価高対策としては、令和8年1月から3月までの電気及びガス料金の引下げや、子育て世帯への支援として、ゼロ歳から高校3年生までの子供1人につき2万円の物価高対応子育て応援手当を支給することが挙げられている。また、地方公共団体による地域の実情に応じた生活者や事業者支援を促進するため、重点支援地方交付金の拡充を図るとされており、食料品の物価高騰への対応や中小企業等の賃上げ環境の整備などを含む推奨事業メニューが提示されている。支援時期については、新年度の4月を目指し、極力早く届けられるよう取り組んでいく。




高志会
伊藤 青波
いとう しょうは



議会からのお知らせ

8/19~20
議会運営委員会

先進地に学ぶ **視察報告**
詳しくは、二次元コードからご覧ください。



●茨城県つくば市

予算・決算議案の審査を行うために設置する予算決算委員会の運営と、議会のチェック機能を強化することを目的として実施されている決算審査と予算審査の連動及び決算審査に係る提言について行政視察を行いました。



常任委員会運営ガイドラインの説明を受ける様子

●兵庫県西宮市

より質の高い委員会運営を行うことを目的とし、常任委員会の運営についてのルールを議員間で共有する取組である「常任委員会運営ガイドライン」について行政視察を行いました。

傍聴環境がさらに快適に

議場と委員会室は、誰もが快適に傍聴しやすいよう、さまざまな配慮が施されています。お気軽に傍聴にお越しください。

○物理的な配慮（傍聴席のバリアフリー化）

・車いす利用者や移動に制約がある方への配慮として、エレベーターホールから議場の傍聴席入口までスロープを設置しています。これにより、車いす利用者でもスムーズに出入りすることができ、車いすのまま傍聴できるスペースも確保しています。また、議場のある6階にも多目的トイレを設置しており、車いすやオストメイトにも対応しています。

○コミュニケーションへの配慮

- ・傍聴席には、ヒアリンググループ（磁気グループ）システムを導入しており、対応する補聴器や人工内耳を使用することで、マイク音声を明瞭に聞き取りやすい環境になっています。また、委員会室には、携帯型のヒアリンググループを設置することが可能です。委員会室での利用を希望の方は、事前に市議会事務局まで御連絡ください。
- ・手話通訳者や要約筆記者の配置スペースを確保しています。傍聴に際し、手話通訳者や要約筆記者の派遣を希望される場合は、原則、傍聴希望日の7日前（土日祝日を除く）までに市議会事務局へお申込みください。（ただし、7日前を経過しても、派遣可能な場合がありますので、御相談ください。）
- ・議場内に大型モニターを設置しており、電子採決の様子なども傍聴席から視覚的に確認できるようになっています。



要約筆記者の配置スペース例

傍聴以外の配慮も

・障がいを持つ方が議員として活動する場合に、議場のバリアフリー化により、車いすのまま議席に着席することができます。また、聴覚に障がいがある方もマイク音声が聞き取りやすい環境になっています。



山口市議会
ウェブサイト
(傍聴)

議会の主な動き



10月

- 2日 会派代表者会議
- 10日 市議会だより等編集委員会(以下、「編集委員会」)、山口県市議会議長会臨時総会
- 20日 第157回中国市議会議長会臨時総会
- 23日 編集委員会

11月

- 5日 全国市議会議長会第242回理事会、第120回評議員会合同会議
- 7日 会派代表者会議、議会運営委員会、広報広聴委員会、山口市議会活性化充実協議会
- 10日 第37回都道府県庁所在都市議長会定期総会(～11日)
- 21日 議会運営委員会、執行部説明会、山口市議会活性化充実協議会

12月

- 1日 **第4回定例会**初日(～22日最終日)
- 2日 議会運営委員会
- 8日 編集委員会
- 11日 議会運営委員会
- 18日 議会運営委員会、編集委員会
- 22日 議会運営委員会

おいませ山口へ(行政視察の受け入れ)

全国各地から行政視察にお越しいただきました。

◆受け入れ団体(10月～12月)21団体

- 10月10日 岡山県倉敷市議会
- 15日 長崎県佐世保市議会
- 16日 埼玉県秩父市議会
東京都武蔵野市議会
- 21日 大阪府茨木市議会
- 22日 東京都目黒区議会
栃木県大田原市議会
- 28日 長野県長野市議会
大阪府堺市議会
- 29日 大分県佐伯市議会
東京都中央区議会
- 30日 千葉県船橋市議会
三重県名張市議会(～31日)
- 11月 5日 埼玉県川越市議会
山口県防府市議会
- 6日 京都府木津川市議会
兵庫県加古川市議会
- 11日 沖縄県うるま市議会
- 12日 北海道札幌市議会
- 17日 静岡県伊豆の国市議会
- 18日 奈良県橿原市議会

行政視察を通じ、本市の取組や魅力をPRしていきます。

編集後記

物価高騰、人口減少、防災減災に係る社会情勢に関すること、行財政に関わるあれこれ、議会改革に資する議案等、今定例会においても実にさまざまな議論が交わされました。いつも「やまぐち市議会だより」を手にとってくださりありがとうございます。今後も、たゆまず市民の皆様にはわかりやすい議会情報を発信できるよう努めてまいります。(中野)

次回定例会日程のお知らせ

(予定)

陳情の受付…2月4日(水)まで 請願の受付…2月10日(火)まで

日	月	火	水	木	金	土
2/15	16	17	18	19	20	21
	本会議(初日) 10:00～					
22	23 天皇誕生日	24	25	26	27	28
		本会議 10:00～ (一般質問・質疑)	10:00～17:00 ケーブルで生中継		本会議終了後 予算決算委員会	
3/1	2	3	4	5	6	7
		教育民生委員会 生活環境委員会 10:00～	教育民生委員会 生活環境委員会 10:00～	総務委員会 農林建設委員会 10:00～	総務委員会 農林建設委員会 10:00～	
	8	9	10	11	12	13
			予算決算委員会 10:00～			本会議(最終日) 10:00～

会議日は傍聴ができます。

議会の内容をウェブでご覧いただけます

- 山口市議会ウェブサイト

<https://www.city.yamaguchi.lg.jp/site/gikai/>



- インターネット録画中継

<https://cstream.c-able.ne.jp/yamaguchi-gikai/m/>



ご感想をお寄せください

議会や市議会だより、ウェブサイト等をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

住所：〒753-8650 山口市亀山町2番1号
電話：083-934-2854 / FAX：083-934-2658
メール：gikai@city.yamaguchi.lg.jp
あて先：山口市議会事務局「議会の感想」宛て

【表紙写真】

令和7年5月に竣工した山口市新本庁舎。12月に行われたライトアップの様子です。新たな市政の拠点において市議会は開かれた議論と責任ある役割を果たしてまいります。

市議会だより等編集委員会

委員長 大田たける 副委員長 中野光昭
委員 鳥養祐矢・安河内淳朗・米本太郎・植野伸一
倉増賢治・山本敏昭・有田 敦・部谷翔大

次号は5月1日発行です